

北大天塩研究林と包括連携協定を締結しました



町は、1月20日、北大天塩研究林と、学術・教育・文化及び地域の発展に関する各分野の協力関係を深めることを目的とした包括連携協定を締結しました。

協定締結式は役場大会議室で行われ、高木健太郎北大天塩研究林長と野々村仁町長が協定書に署名しました。協定書には、以下の事項について連携・協力することが規定されています。

- ①産学官の連携による地域産業の振興に関すること
- ②地域環境の保全と地域資源の活用に関すること
- ③地域の将来を担う人材育成に関すること
- ④森林管理技術、教育及び文化の振興に関すること
- ⑤その他両者の協議により定める地域づくりや地域の振興発展に係る事項

協定の締結は、町と北大天塩研究林が共同で、北海道経済産業局の「100%北海道産ワイン・クラスター事業」に研究林内のミズナラ材（ワイン樽の原材料）の提供について提案したことが始まりで、今後は、町の新たな特産品開発の一環として幌延町産ワイン樽の製造試験に取り組む予定となっています。

ふるさと納税の返礼品に 「トナカイ缶詰」が登場!!



ふるさと納税の返礼品に、新たに「トナカイ缶詰」が追加されました！

1万円以上のふるさと納税で返礼品として「トナカイ缶詰（大和煮・味噌煮各2個）4個」がもらえます。

町外にお住まいのご家族やお知り合いに、幌延町のふるさと納税をご紹介します。

問合せ先

産業振興課 企画振興グループ

電話：5-1113

(内線 233・234・235)

コミュニティ助成事業を活用： サロベツ太鼓

問寒別で活動する団体「サロベツ太鼓」では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により太鼓の皮張替、太鼓の胴補修、半纏等を購入しました。この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に行われています。

今回の整備によって、「サロベツ太鼓」が地域の重要なイベントである問寒別神社祭や町イベントに参加し、幌延町の郷土芸能の普及と地域の連帯感の深まり、コミュニティ活動の活性化が図られることが期待されます。

